

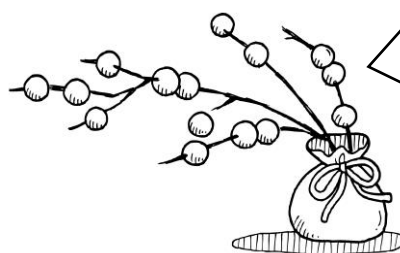
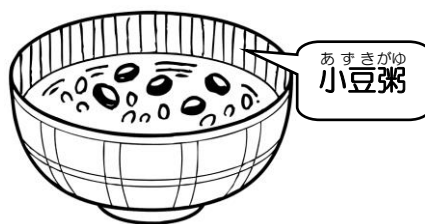
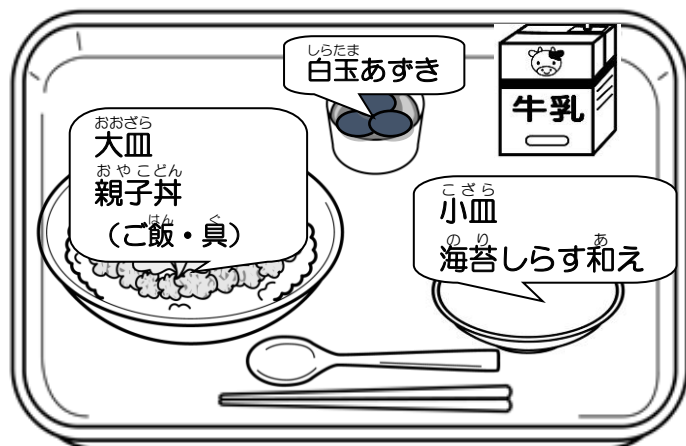


きゅうしょくニュース



れいわ ねん がつ にちもくようび
令和8年1月15日木曜日

きょう こしょうがつ
今日は「小正月」



1年の豊作を祈り、
小正月に飾られる「餅花」
実った稲穂に見立て、
小さく丸めた餅を枝に刺し、
束にして飾ります。
お餅ではなく餅を使い、
「餅玉」と呼ぶ地域も。

こしょうがつ がつついたち ちゅうしん しょうがつぎょうじ おおしょうがつ
「小正月」とは、1月1日を中心とした正月行事の「大正月」
たい がつ にち おこな ぎょうじ
に対し、1月15日に行われる行事のことをいいます。

むかし にほん つき み か かげつ きじゅん く
昔の日本では、月の満ち欠けを1ヶ月の基準として暮らしてい
ました。そのため、まんげつ きゅうれき がつ にち ねん はじ
満月となる旧暦の1月15日を「1年の始まり
りである正月」として祝っていました。これは、むかし にほんじん
「満月はめでたいものだ」と考えていたことに由来するそうです。

こしょうがつ むかし あずき い
小正月には、昔から、小豆を入れたおかゆや、ぜんざいなどを
た ふうしゅう あずき あか た もの じゃき はら
食べる風習があります。「小豆のような赤い食べ物は邪気を祓う」
かなが ねん けんこう いの い み
と考えられているので、1年の健康を祈るという意味があります。

また、もちを枝に刺して飾る「餅花」という習慣もあります。

きゅうしょく あずき に つく もちばな み た しらたま
そこで、給食では、小豆を煮てあんを作り、餅花に見立てた白玉
だんごに乗せました。

ちどもとこしょうがつ おこな ゆうめい まつ なん
元々小正月に行っていた有名なお祭りは、何でしょう！？
ひと きょう きゅうしょくしつ かくにん
気になる人は、ロイロノートの今日の給食室で確認してね！

きょう きゅうしょく つか ちばけんさん た もの
☆今日の給食に使っている千葉県産の食べ物☆

こめ しらたま こめ きゅうにゅう たまご にんじん ふなばしさん こまつな み ば のり
米 白玉(もち米) 牛乳 卵 人参 船橋市産→小松菜 三つ葉 海苔

